

第 45 回日本薬剤師会学術大会の報告

蘇原店 市村 友樹
三笠店 上田 和弘

10月7日、8日と浜松で行われました日本薬剤師会学術大会に参加してきました。昨年は東日本大震災の影響で仙台での開催が中止になったため2年ぶりの開催となりました。

初日は開会式から参加し、作家で薬剤師の瀬名秀明さんの講演を聞いてきました。「科学・薬学の未来」というテーマで話され、「未来とは倫理観の変化そのものだ」という言葉は印象的でした。

その後、ランチョンセミナー「注射薬調剤に関するリスクマネジメント」に参加しました。

注射薬での調剤過誤のリスク軽減のため、最新のシステムを紹介。

実際に導入している病院での現状及びメリット・デメリットについてでした。

今後、在宅医療が本格的に始まった際に参考にしようと思います。

その後、薬局機能の口頭発表会に参加し、いろいろな薬局の発表に耳を傾けてきました。

その中で、先日、土岐で行われた薬剤師会議で体験した「HbA1c」、「LDL・HDL・TG」の測定器を実際、薬局においている話を聞くことができました。事前に保健所に申請し、指導を受けた事やどのような方が利用しているかなど現場の生の声を聞いてとても参考になりました。

2日目はポスター発表と薬科機器等の展示会を見てきました。

ポスター発表では、さまざまな薬局がいろいろなテーマで日々の研究の成果を発表していて、大変刺激になりました。

手帳を利用したハイリスク薬の指導や残薬の回収・確認の発表は、蘇原店や三笠店で参考にし、できるだけ早く実践していきたいと考えています。

薬科機器等では現在、私達がお店で使用しているユヤマの最新の機器について説明を受け、今後必要に応じて導入を検討していきたいと考えています。

今大会では、多くのことを学ぶことができ、またさまざまな薬剤師の考え方を知ることができ、大変充実した2日間でした。

今大会の経験を、今後の店舗の運営に生かして、さらに発展するよう努力していきたいです。